

1 今夏の最大電力と供給力の見通し

50Hz 地域への電力融通の停止、長期計画停止火力機の再稼働や火力機の定期点検時期の変更などの対策により、今夏の供給予備率は5%程度となる見通しであるものの、**経年火力の計画外停止や異常な猛暑による需要の急増など、需給の安定が保たれないリスクが残存します。**

(万 kW)

	7月	8月	9月
最大電力(A)	2,637	2,637	2,506
供給力(B)	2,763	2,773	2,673
供給予備力(B-A)	126	136	167
供給予備率(%)	4.8	5.2	6.7

2 需給状況が特に厳しい日

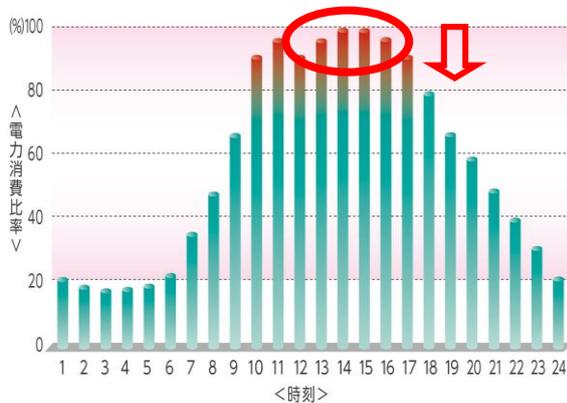
今夏は、特に月曜日から水曜日の昼間時間帯（13時から16時）の電力需給が、極めて厳しい状況になります。下記日程においては、さらに特段のご協力を賜りたく重ねてお願い申し上げます。

[平成23年夏のカレンダー]

7月							8月							9月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31					26	27	28	29	30		

3 一日の電気の使われ方（夏季のピーク日）

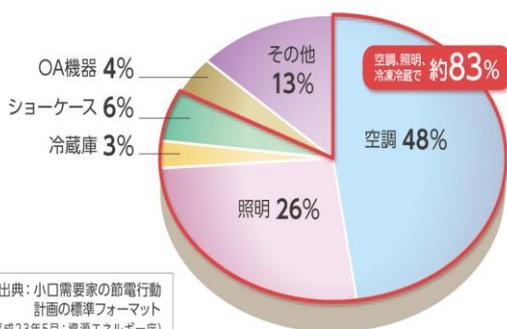
[一般的な商業施設の場合]



電力需要は、夏の平日の昼間にピークとなります。誠に迷惑をおかけいたしますが、**夏の平日の昼間の節電に、最大限のご協力をお願いします。**

4 電力消費の内訳

[一般的な商業施設の場合]



※出典：小口需要家の節電行動計画の標準フォーマット（平成23年5月：資源エネルギー庁）

業務用分野は、オフィスビル・百貨店・スーパー・飲食店など、その業種により電力使用用途が変化します。電力使用量の多い用途の節電手法例です。

設備	節電手法	建物全体の削減率※		
		商業施設	ビル	飲食店
空調	設定温度を1℃高くする	約5%	約5%	約5%
照明	10%消灯（間引き）する	約3%	約2%	約3%

※小口需要家の節電行動計画の標準フォーマット（平成23年5月資源エネルギー庁）の電力消費の内訳を参考に算出